



中部電力



中部電力パワーグリッド



中部電力ミライズ

安全と健康の確保に向けて

中 部 電 力 株 式 会 社

中部電力パワーグリッド株式会社

中部電力ミライズ株式会社

はじめに



- 日頃から安全と健康の確保へのご協力をいただき、ありがとうございます。
- 当社は、2019年度から**安全健康行動原則**を制定し、従業員の行動規範としています。
- 当社は、お取引先のみなさまを、当社の代わりに仕事をしていただいている大切な事業のパートナーと考えています。発注者として、無理のない工期設定、安全対策の検討、過去の災害から得た教訓の共有など、できる限りのサポートをさせていただき、安全と健康を守るために力を合わせて活動していきたいと考えています。



安全健康行動原則

すべての役員および従業員は、

➕「すべてのケガは防ぐことができる。」

💚「生涯にわたって健康であり続ける。」

との揺るがない信念を持ち、いかなる場合も次のとおり行動する。

- 1 安全と健康のための行動を称賛し、対話を実践する。
- 2 仲間の成功や失敗から得た教訓を自らの行動に活かす。
- 3 あらゆるリスクを洗い出し、ただちに低減し、管理する。
- 4 人への対策（意識、教育訓練、ルール）とモノへの対策（設備、装備）を共に充実させる。
- 5 事業のパートナーと、安全と健康のために協働する。
- 6 勤務時間外も安全に行動し、健康の保持増進に努める。

会社は安全と健康への施策および投資を継続する。

01 至近の請負災害状況

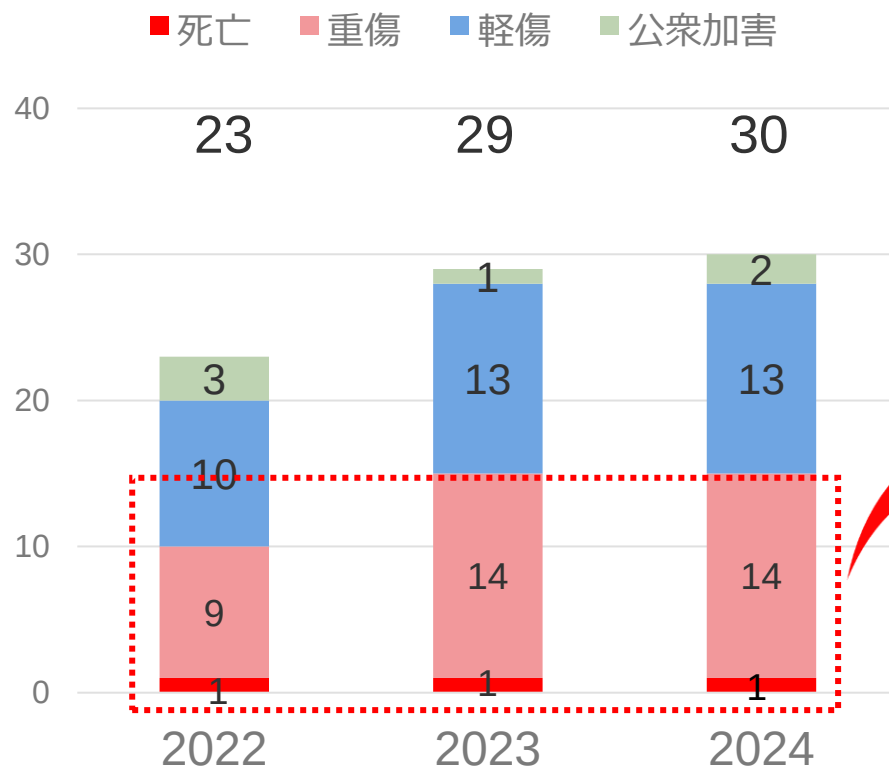
至近の請負災害の傾向



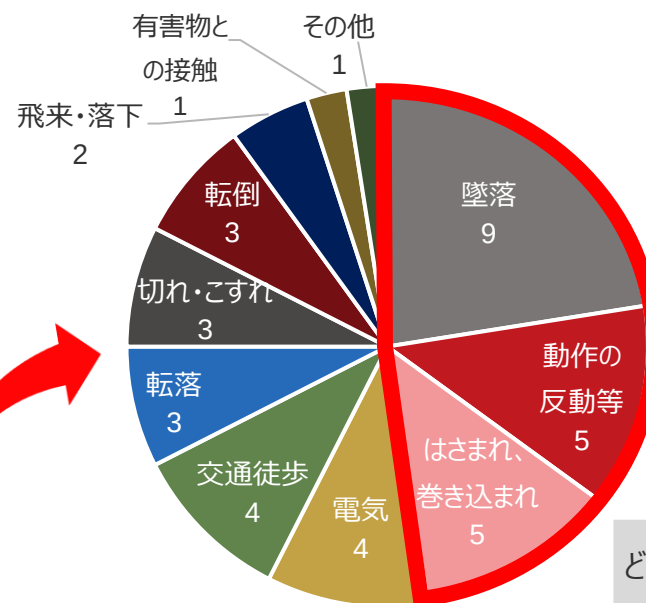
請負災害実績

- ◆ 2024年度は5年連続となる死亡災害1件に加え、14件の重傷災害が発生。
- ◆ 死亡・重傷災害の多くは「墜落」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」で発生。

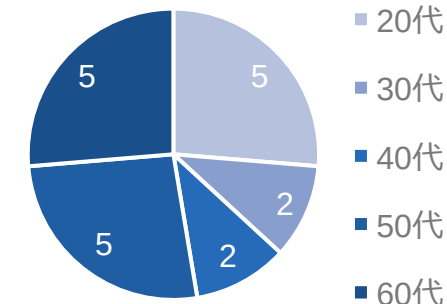
請負災害件数



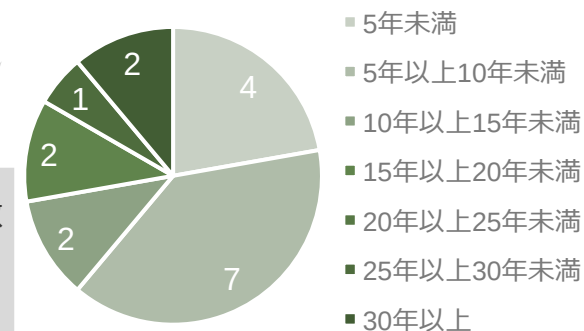
死亡・重傷災害の発生類型件数(至近3力年)



上位3災害の年代別件数



上位3災害の経験年数別件数



どの年代・経験年数においても発生しています

墜落災害事例



電柱上を移動する際に誤って墜落

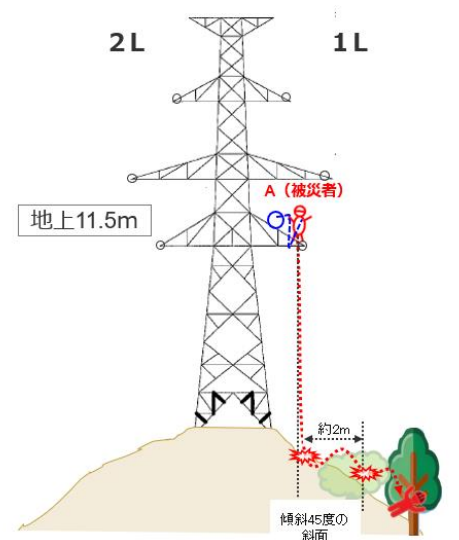


業務内容	高圧線張替工事
災害態様	墜落（2m以上の高所から落下）
ケガの程度	重傷
傷病名	右側肋骨3本骨折 肺挫傷
発生状況	当該位置での作業が完了し、電柱上で移動した際に、フックがD環に適切に取り付けられておらず、落下防止用ネットにワンバウンドし落下

■恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
ナスカンがD環に引っかからなかった	・腰道具の状況を点検していなかった ・腰道具の正規の配置は取り付けづらかったがそのまま使用していた	・管理職が作業立会時に確認し、劣化や工具配列の適正性を確認する ・D環を大型化した対策品へ入社3年目までの社員を対象に取替
被災者以外が被災者の行動を確認していない	・確認呼称に関して、誰が応答するかルールが存在しなかった	・TBM・KYで指名された地上相番者が、安全呼称を行った動作を確認し応答する ・入社3年目以降の技術者に対して「単独昇柱」の認定を新設し、未認定の技術者は他者による呼称・応答・確認を継続する

がいし連先端へ移動する際に移動ロープが外れ墜落



業務内容	電線張替工事
災害態様	墜落（2m以上の高所から落下）
ケガの程度	重傷
傷病名	左腓骨近位骨折、左脛骨骨折、 腰椎骨折、下顎骨右骨折、 左血胸
発生状況	絶縁間隔測定のため、がいし連へ移動する際に墜落防止用移動ロープのフックが外れ墜落

■恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
移動用ロープの取り付け部フックが外れた	・移動用ロープの暫定対策品・恒久対策品は推奨品という認識で使用していなかった ・過去の事例は知っていたが、深堀が出来ていなかった	・移動用ロープは恒久対策品を使用する。（未対策品は使用禁止） ・現貴会議（1回/月）の場を利用し、安全に関して情報共有する ・元請会社と協力会社で定期的に事例を基にしたディスカッションを実施する
被災者は、移動ロープだけでがいし連に乗り出した	・移動ロープとWPロープを併用するルールが協力会社徹底されていなかった	・ランヤードまたは移動ロープとWPロープの併用を必ず行う【ルールの再徹底】

動作の無理な反動等、はさまれ・巻き込まれ災害事例



重量物引き上げ作業により負傷

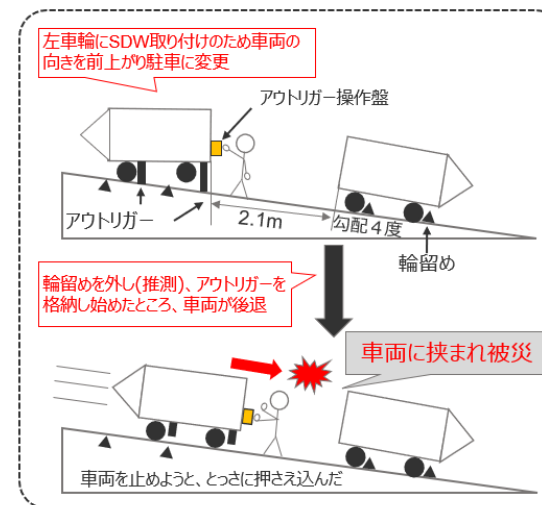


業務内容	地質調査（ボーリング）作業
災害態様	動作の反動・無理な動作
ケガの程度	重傷
傷病名	胸椎圧迫骨折
発生状況	仮置き場に立てておいたボーリングロッド（重量物）を移動させた際に胸椎負傷

■恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
重量物であるボーリングロッドを1人で移動した	・被災者は重量物取扱に対するリスクの認識が不足していた	・元請現場監督者は 重量物に関する教育を実施 し、取扱時は職長や現場監督者が注意喚起する
重量物であるボーリングロッドを巻上機を使用せず1人で移動させた	・現場監督者は、巻上機を使用させずに一人で作業させた	・移動させる距離に関わらず、 重量物を扱う場合は、巻上機もしくは複数人で移動させる
現場監督者は、当日のTBM時に重量物作業として注意喚起していなかった	・現場監督者は、いつも実施している作業だったので、特に問題視していなかった	・作業員は設備毎の重量を把握できないため、現場監督者は当日の作業内容を確認し、重量物取扱作業がある場合は、 TBM時に注意喚起を行い、KY活動においてリスクと対策を洗い出し共有する

高所作業車が斜面を逸走し別車両との間に挟まれ死亡



業務内容	通信ケーブル用吊線の架設作業
災害態様	はさまれ・巻き込まれ
ケガの程度	死亡
傷病名	—
発生状況	アウトリガー格納後に高所作業車が斜面をいつそうし別の車両との間に挟まれる

■恒久対策（抜粋）

重要な事実	根本原因	恒久対策
被災者はアウトリガーを格納した際に、車両が動き出し別車両との間に挟まれた	・被災者はアウトリガー格納する前に輪留めを外した	・輪留めの設置・取り外し手順と、前下り駐車等が必要な理由を標準施工安全計画書に反映し、関係者を教育する
被災者はSDWを使用するため、車両を傾斜地に前上がり駐車をした	・前下がり駐車は高所作業を行う場合のみ適用されるルールであると誤認していた	・「 上級現場監督者 」制度を新設し、 現責・現監の力量、作業員の技量を評価する
現場責任者は同日の作業表を確認していなかった	・元請会社は、協力会社の現場の安全管理状況を十分に確認することなく作業を協力会社に一任していた	・現責と上席者等による「 施工安全打合せ 」を必ず行う ・現責が安全・品質に関する指示を的確に行うための「 作業表 」の様式を統一する

02 健康管理について（特に睡眠の重要性）

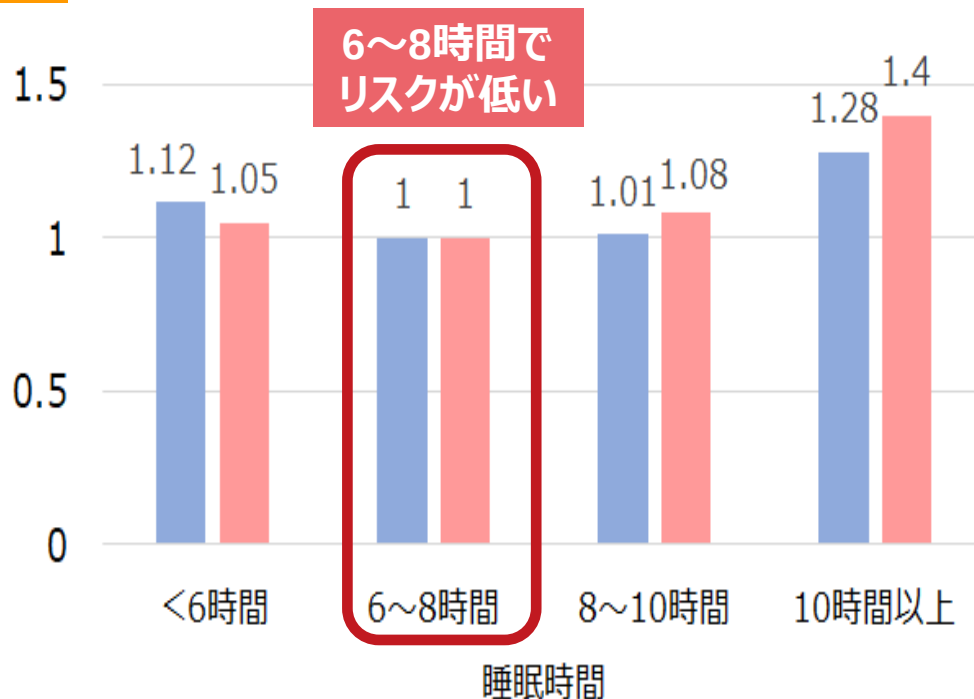
適正な睡眠時間



- 近年、テクノロジーの進歩により、ウェアラブル端末を活用して自身の睡眠時間や質を可視化できるようになったことから、社会的に睡眠に関する注目が高まっています。
- 様々な研究によって、**睡眠時間6~8時間が、最も健康リスクが小さい**ことが示されています。
- また、**良い睡眠は、眠気や疲労が原因の事故やケガのリスク低減**にも寄与します。

からだ

睡眠時間とメタボリスクとの相関

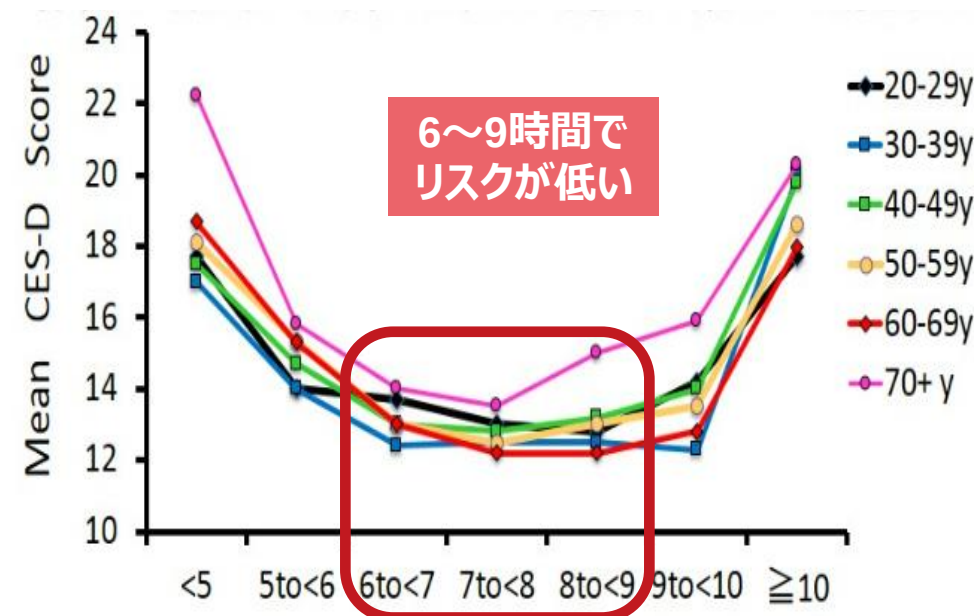


【出典】 Kim et al. BMC Public Health (2018) 18:720

■男性 ■女性

こころ

睡眠時間とメンタル疾患リスクとの相関



【出典】 CES-D:Center for Epidemiologic depression Scale
(J Clin Psychiatry 67(2):196-203,2006)

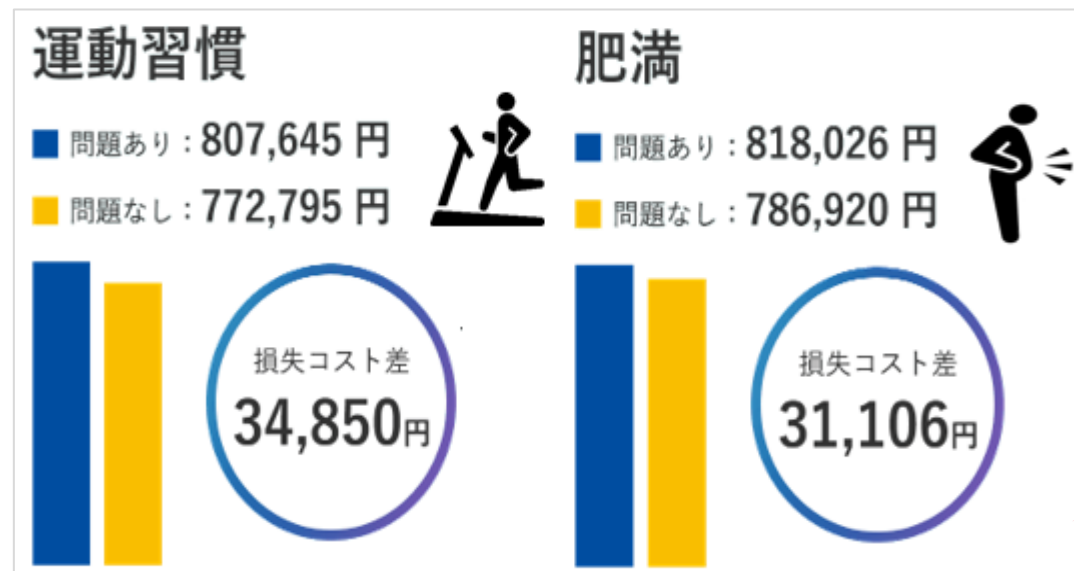
睡眠による効果



- **生産性を大きく向上させるためには、睡眠課題への対応が最も効果的です。**
- 量・質ともに良い睡眠を取ることは、健康リスクの減少だけでなく、パフォーマンス向上や労働災害の防止にも大きく寄与することから、**中部電力 3 社では従業員への睡眠支援を実施**しています。
- 弊社の取り組み事例についてご関心がございましたら弊社HPやグループレポートをご参照ください。

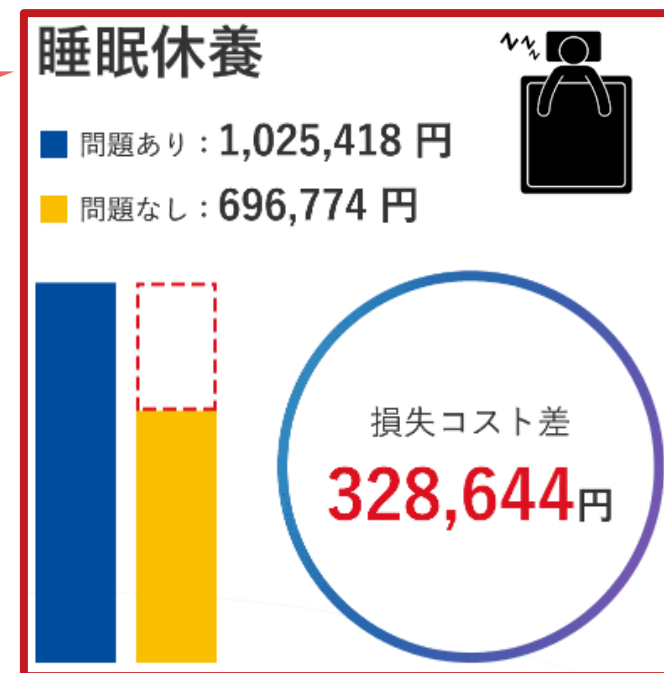
[健康経営の推進 - 安全と健康への取り組み | 中部電力 \(chuden.co.jp\)](#)

[中部電力グループレポート2024 \(chuden.co.jp\) \(P.64\)](#)



損失コスト：一人あたりの年間平均

出典：企業の「健康経営ガイドブック」～連携・協働による健康づくりのススメ～（改訂第1版:平成28年4月） 経済産業省

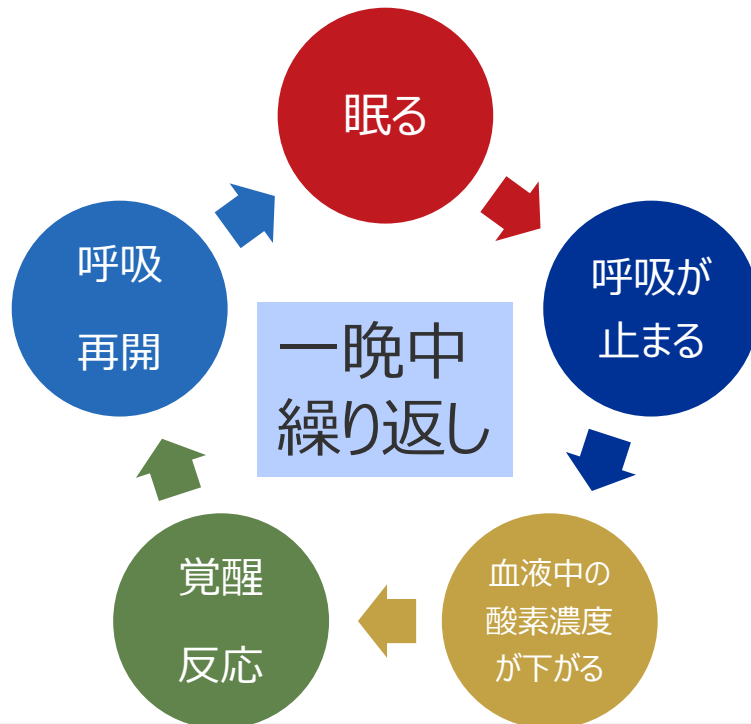


損失コスト：一人あたりの年間平均

睡眠施策（ハイリスク者支援） 閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）について

- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSAS）とは、睡眠中に気道が塞がれることにより、呼吸が断続的に止まり、酸素不足や睡眠の質の低下を引き起こす疾患です。
- 放置すると、**日中の強い眠気**や**心筋梗塞**や**脳梗塞**、**生活習慣病**などにつながるおそれがあります。
- 治療が必要な中等度以上は、50代の男性で10～20%程度、50代女性で10%弱と言われています。
* 睡眠時無呼吸症候群（SAS）診療ガイドライン2020より
- 中部電力3社では、**従業員の睡眠に関連した自覚症状を把握し、産業保健スタッフによる個別面談をしています。**

【閉塞性睡眠時無呼吸症候群で起こること】



深い睡眠がとれず睡眠不足になる

日中の強い眠気により、生産性の低下や産業事故のリスクが増加。

血中の酸素濃度が下がる時間がある

酸素濃度の低下を補うために心臓の働きが強まり高血圧になる。
動脈硬化が進み心筋梗塞・脳梗塞のリスクが増加。

睡眠不足によるストレス

血糖値やコレステロール値が高くなり、さまざまな生活習慣病やメタボリック・シンドロームのリスクが増加。



- ◆ 多くの重大な災害は、少しの作業ルール違反や不注意などから発生しています。
- ◆ 「安全を最優先に作業する」ためには、一人ひとりが常に自分自身の安全に気を配るとともに、周囲に声掛けできる雰囲気を作ることが大切です。元請となるみなさまに、安全行動の率先垂範をお願いしたいと思います。
- ◆ 当社は、お取引先のみなさまご自身、家族、仲間の安全と健康を守るために、みなさまの声にじっくりと耳を傾けます。安全や健康に関するご提案などがありましたら、ぜひご相談ください。
- ◆ 無事故・無災害に向けて、引き続き安全と健康確保の取り組みの徹底について、よろしくお願いいたします。

ご安全に！





中部電力



中部電力パワーグリッド



中部電力ミライズ

